



宝永小だより

No.25

福井市宝永小学校
令和8年2月16日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

新雪と戯れる子どもたち 1月23日(金)・26日(月)

強い冬型の気圧配置により1月21日(水)頃からまとまった雪が降り始め、23日(金)から24日(土)にかけてさらに積雪が増加し、大雪となりました。24日(土)時点で、福井市では40cmの積雪を観測したようです。その後も降り続き、1月の最深積雪量は56cmに達したそうです。子どもたちは大雪にめげず、待っていましたとばかり、全ての学年の体育の授業で、雪遊びを楽しみました。ふわふわの新雪と戯れる子どもたちは、笑顔いっぱいでした。雪の上に寝転がったり、雪だるまを作ったり、雪玉を投げたりして、雪国ならではの体験を思う存分楽しんでいました。



<雪遊びを楽しむ子どもたち>

6年生 卒業制作が進む 1月26日(月)

6年生の子どもたちは、「6年生を送る会」の開催に合わせて、「卒業制作展」を企画しています。多目的室を会場として、図画工作の作品と書写の作品を展示する予定です。当日の2月20日(金)が迫る中、作品づくりは佳境に入ってきました。小学校での思い出や中学校で頑張りたいことなどを漢字一字で表現し、色紙に見事に書き上げました。図画工作では、「未来の私」という内容で、粘土を使って、自分の「未来の姿」を創作しています。いろいろな材料を使って動きを工夫しています。子どもたちの将来の夢は、プロ野球選手・調理師・先生・デザイナーなど…。子どもたちの「未来の姿」が、卒業作品展に並ぶことを楽しみにしています。



<作品づくりに集中する子ども>

6年生 進学する中学校の説明会に参加 2月2日(月)

福井市内各中学校で、新入生入学説明会が行われ、6年生の子どもたちとその保護者の皆様が参加しました。この新入生入学説明会は、中学校入学への不安を少しでも解消しようと、20年程前から、公立の市内全中学校で一斉に行われています。この日、進明中学校や明道中学校等へ出向いた子どもたちは、各校の先輩と触れ合ったり、話を聴いたりする中で、中学校生活への夢と希望をもつことができたようです。子どもたちには、慣れ親しんだ宝永小学校での仲間との残りの日々を大切に、中学校へ向けての準備を進めてほしいと思います。

学校保健委員会「ネット依存・ゲーム障害」 2月3日(火)

本年度の学校保健委員会のテーマは、「ネット依存・ゲーム障害について考えよう」でした。5年生と6年生の保健・運動委員会の子どもたちが、委員会の時間や大休み・昼休みの時間を使って、準備を進めてきました。学校保健委員会のねらいは、ネット依存・ゲーム障害に関する正しい知識を身に付け、自分のインターネットやゲームの利用状況や生活を振り返る機会にすることでした。子どもたちは事前に、ネットの利用やゲームの時間などに関するアンケートに回答しており、その結果を基に、ネット依存とゲーム障害についての劇が行われました。保健・運動委員が役になりきって、「ネット依存とかゲーム障害ってなに?」「インターネットとかゲームをやりすぎて、やめられなくなってしまうこと、なんだって。」「本当にひどくなると、病院に行かないと治らなくなるんだって。」などのせりふのやり取りを行いました。その後、子どもたちはネット依存やゲーム障害かどうかわかるテストに臨みました。テストは、9つの質問に対して「はい」と「いいえ」の選択肢で、あてはまる方に○をつけるものでした(質問内容は別表を御確認ください)。



<学校保健委員会の様子>

そして、「はい」の数が2個より少なかった人は「まだネット依存やゲーム障害ではありません」、「はい」の数が3個か4個だった人は「少し危ないかもしれません」、「はい」の数が5個より多かった人は「とても危険です」と、判定されました。多くの子どもは予想外の判定結果に驚き、これからインターネットやゲームとどう関わると良いのか、考える機会になっていました。

1	インターネットやゲームをやめなさいと言われた時に、やめられないことがある
2	インターネットやゲームをすると決めた時間よりも、長い時間インターネットやゲームをすることがある
3	友だちと遊んだり、おうちの人と過ごしたり、スポーツや他の趣味をしたりするよりも、インターネットやゲームをする方が楽しい
4	毎日の生活の中で、インターネットやゲームをする時間が一番大切だ
5	インターネットやゲームをしすぎて、宿題などのやらなくてはならないことができないことがある
6	インターネットやゲームをしすぎて、寝る時間が遅くなることもある
7	インターネットやゲームがしたくて、おうちの人に嘘をついたことがある
8	いやなことや不安なことがある時に、インターネットやゲームがしたくなる
9	1日2時間以上インターネットやゲームをすることがある

<別表：9つの質問内容↑>



どきどき・わくわく、年長児と交流 2月4日(水)

本校では、校区内の4園(北部保育園・尾上幼稚園・聖徳幼稚園・聖三一幼稚園)と園小連携・接続の取組をしています。その取組の1つでもある小学校1日体験「わくわく交流デー」を開催しました。これは、本校に入学予定の年長児とその保護者の皆様に本校のことを知っていただき、4月からの小学校生活への見通しや安心感をもってもらえるようにするためのものです。本校の子どもたちは、先輩として、様々な準備をして、当日を迎えました。

全校による交流…企画・生活委員の子どもたちが司会進行をし、にこフレ班を中心に、全校で交流しました。



<入場>

1年生の子どもたちが、年長児と手をつないで入場し、にこフレ班と合流しました。



<自己紹介>

にこフレ班の中で自己紹介をしました。上級生が年長児をサポートしていました。



<「間違い探し」ゲーム>

学校生活場面における始めと後のシーン間違いをにこフレ班で協力して見つけました。



<1月の歌 斉唱>

「世界中のこどもたちが」を全員で歌いました。

1年生との交流①…体育館で、1年生の子どもたちができるようになったことや学校生活の一日を紹介したり、ペアによるリレーやジャンケン列車で交流したりしました。



<合奏「子犬のマーチ」>



<学校生活の紹介の一場面>



<年長さんとのペアリレー>



<ジャンケン列車>

1年生との交流②…1年生の子どもたちは年長児を、保健室と図書室に案内した後、1年生教室へ招きました。年長児は、緊張した面持ちで行儀良く座っていました。1年生の子どもたちは、学習用具について、優しく紹介していました。

1年生の子どもたちは、毎日1時間以上の練習時間を積み重ね、当日を迎えました。年長児に接する1年生の子どもたちから、改めて、この1年間の大きな成長を感じました。そして、新1年生を迎える準備ができた、頼もしい子どもたちの姿を見て、うれしくなりました。年長児とその保護者の皆様には、1年生の子どもたちの気持ちが伝わったでしょうか。また、本校では全校による交流も実施することで、各学年の次年度への意識を高めることができている。子どもたちが素敵な時間を過ごせて、本当によかったです。新1年生の子どもたちのご入学を心よりお待ちしております。

3年生 熟成した味噌について学ぶ 2月5日(木)

子どもたちが11月に仕込んだ味噌(本紙No.21に掲載)を(株)米五で熟成させていただき、出来上がった味噌が、子どもたちの元に届きました。他に、8種類の味噌も持ってきてくださいました。子どもたちは、8種類の味噌を試食することで、それぞれの味噌の違いについて学びました。まず、麴の違いによる米味噌・麦味噌・豆味噌の比較では、色の違いはもちろんのこと、香りの違いや味の違い、舌触りの違いを感じ取っていました。そして、子どもたちは、互いに、好みを語り合っていました。次に、辛口・甘口の味噌を比べました。子どもたちは、色の違う



<仕込んだ味噌容器の蓋を開ける>

味噌を口に入れる度に、「うわあ。」と声を発しながら、味の違いを感じ取っていました。さらに、熟成期間の違いとして、1ヶ月・9ヶ月・2年の味噌を比べました。熟成が進むにつれて、色が濃くなるだけでなく、味や香りも変化していることを確認することができました。子どもたちは、8種類もの味噌の違いを体感するとともに、各自の味噌の好みの違いにも驚いていました。最後に、グループごとに仕込んだ味噌容器の蓋を開けると、味噌の良い香りが教室中に漂いました。子どもたちは、持ち寄った容器などに小分けして、持ち帰りました。国語の「すがたをかえる大豆」の学習からスタートした味噌との出会いが、教科書で留まらずに、実際に様々な体験をして、味噌の世界の奥深さやおもしろさを知る学びとなりました。



<味噌の違いを体感する子どもたち>

*地域の皆様・保護者の皆様には、大雪の折りに除雪や集団登校班の付き添い・見守りをさせていただき、本当にありがとうございました。お陰で、子どもたちは安全に登校することができました。少しずつ雪解けが進んでいるようです。